

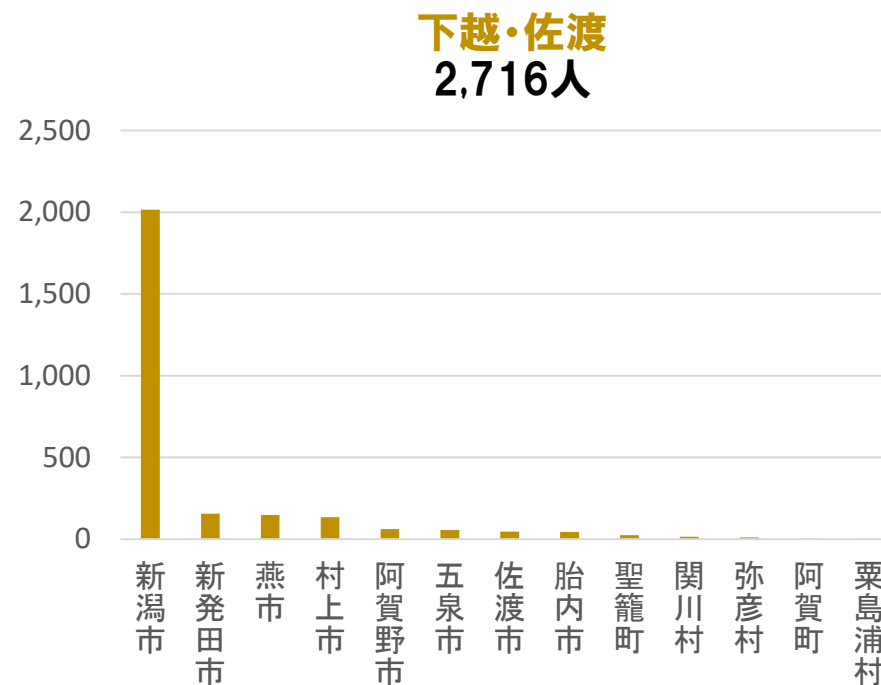
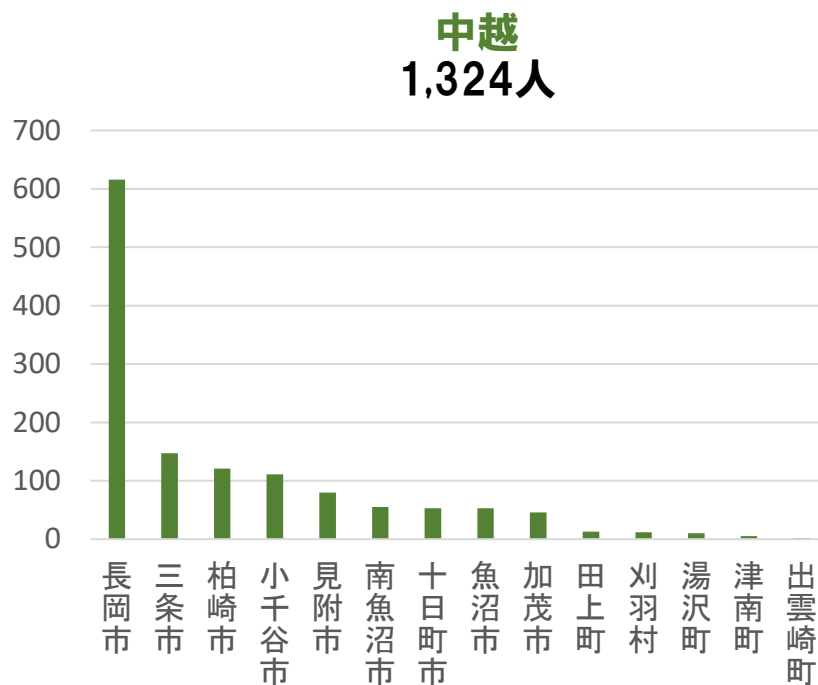
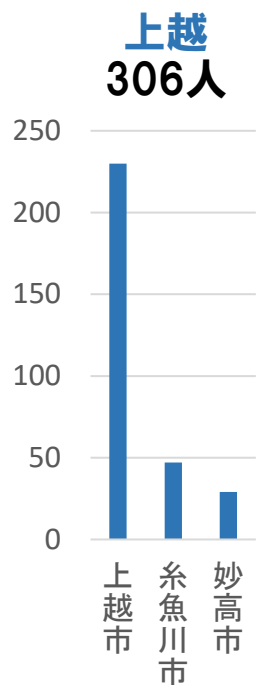


にいがた鮭プロジェクト 2024年度の取り組み

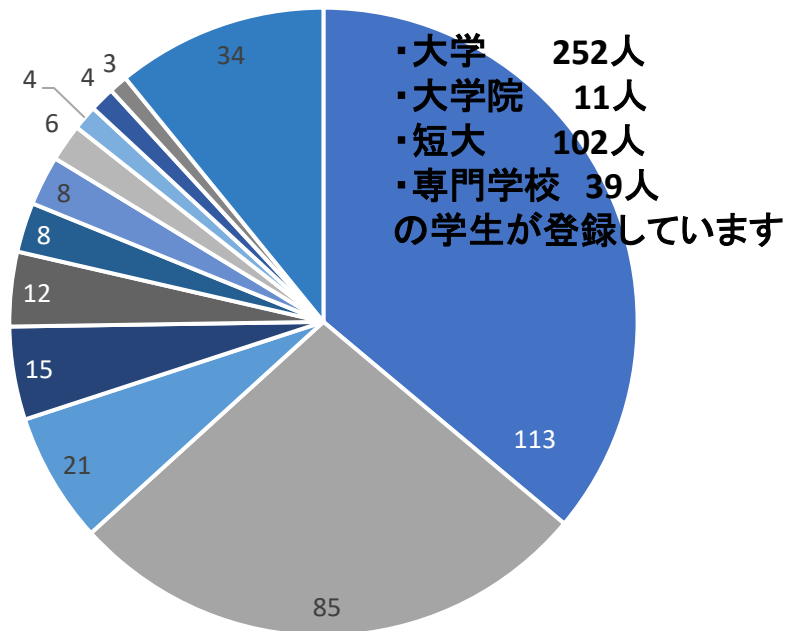
2月5日時点
4,747人
(社会人含む)

県内学生会員： 404人
県外学生会員：3,167人

県外出身県外在住：98人
出身地不明：303人



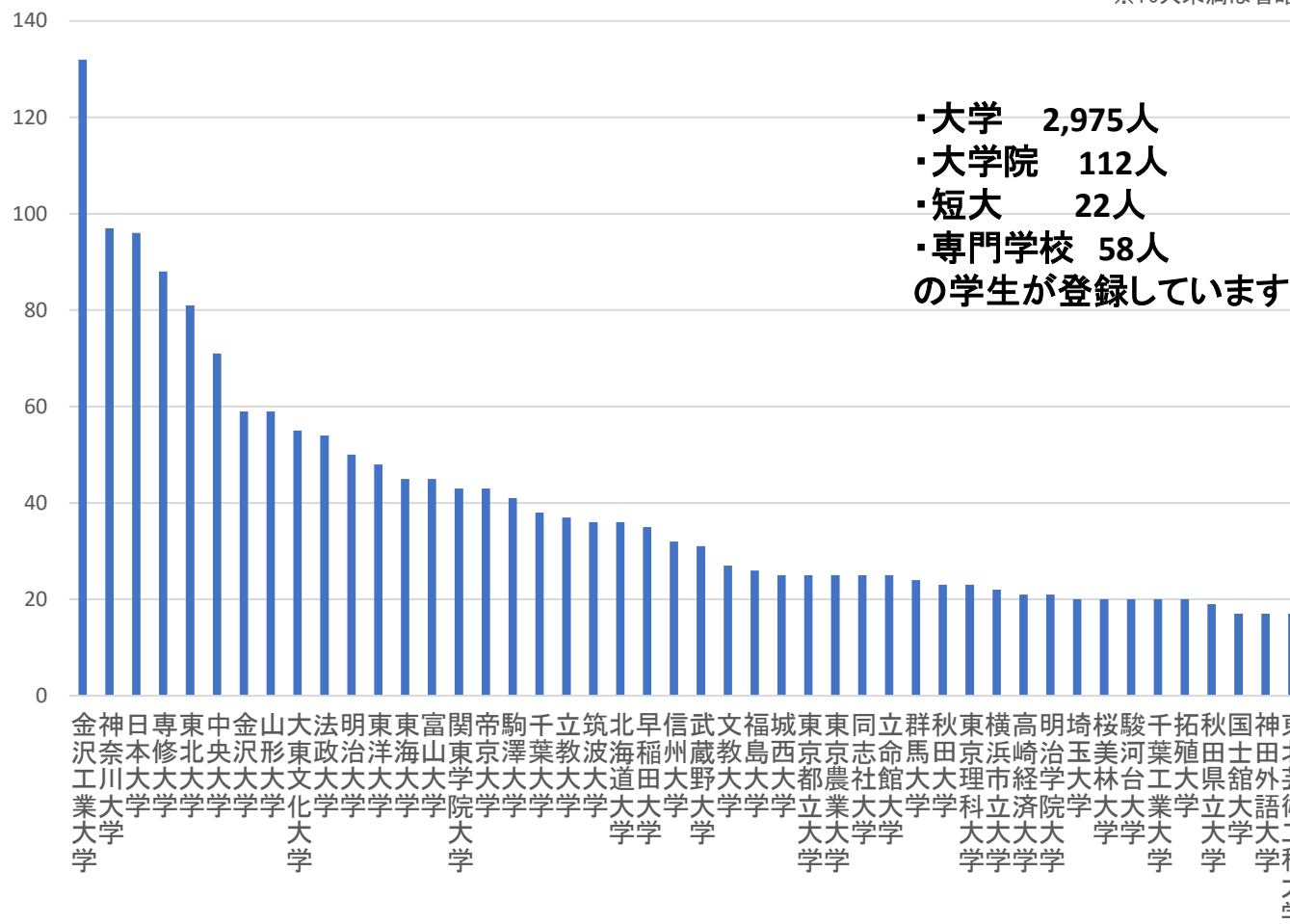
県内



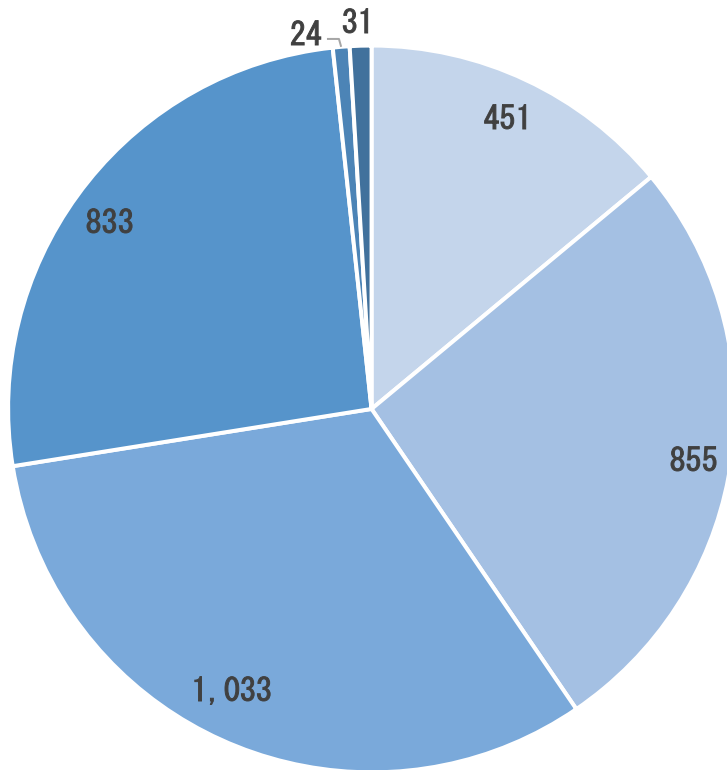
- 新潟青陵大学
- 新潟県立大学
- 新潟医療福祉大学
- 新潟薬科大学
- 新潟食料農業大学
- 新潟経営大学
- 新潟大学
- 敬和学園大学
- 新潟国際情報大学
- 三江市立大学
- 長岡技術科学大学
- その他

県外

※16人未満は省略

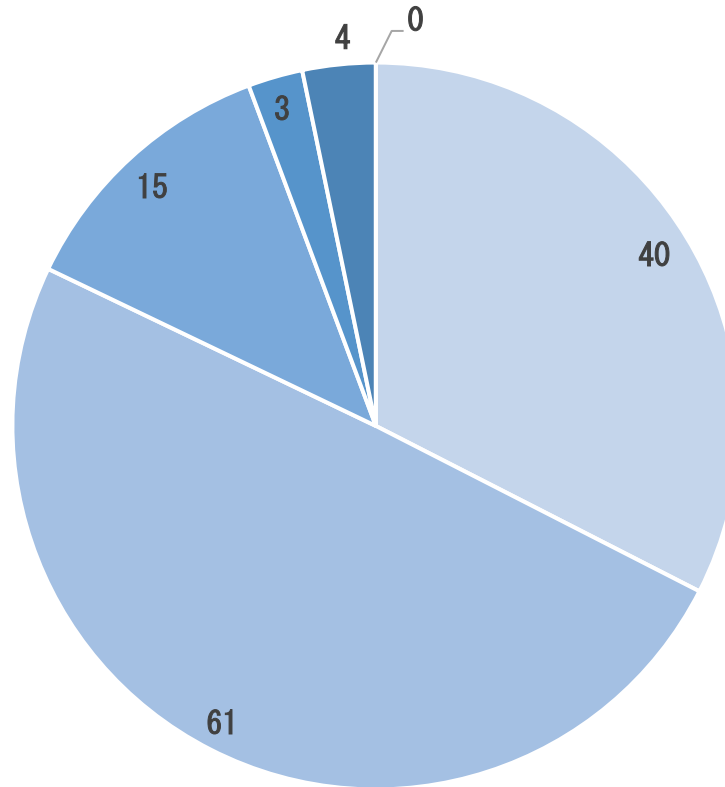


大学生



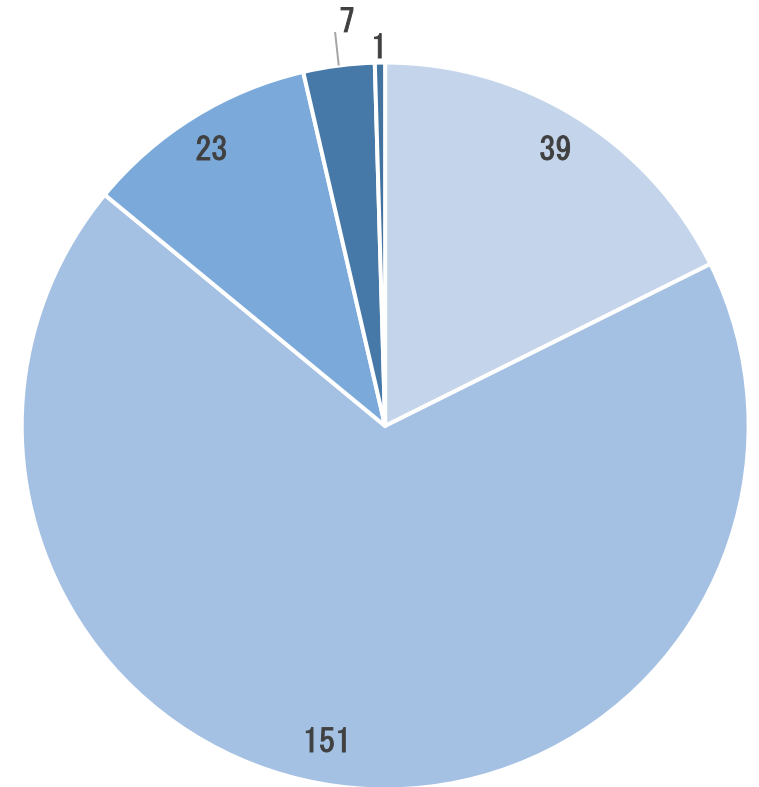
■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年 ■ 5年 ■ 6年

大学院



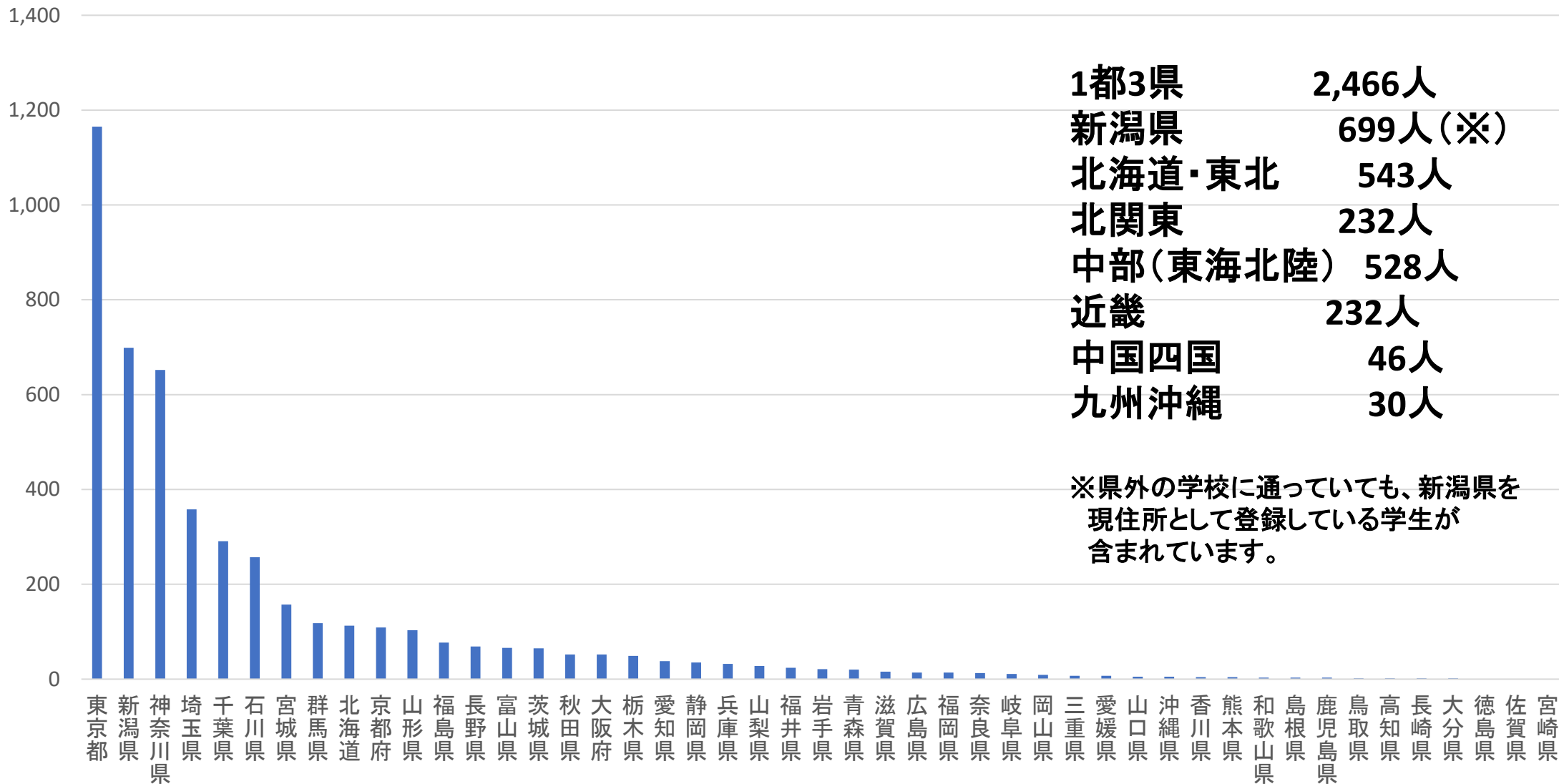
■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年 ■ 5年 ■ 6年

短大・専門



■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年 ■ 5年

現住所別 会員登録の状況(社会人含む)



「はたらく・たべる・まじわる・つながる」をテーマにした県内各地の情報や、サポーターズネットワーク会員のイベント情報やインターンシップ情報なども発信しました。



ホームページトップ



実際の記事



サポーターズインフォメーション

情報発信② チラシ・ポスター



ポスター



高校生向けチラシ(卒業時)



大学生向けチラシ(入学時、進学時)



大学生向けチラシ(通年)



TVCM・メディアシップ館内マルチビジョン・JRビジョン・各種サイネージ・ビッグスワンマルチビジョン



3月2日(土)付け朝刊15段広告



6月22日(土)付け朝刊紙面特集



11月12日(火)付け朝刊紙面特集



全5段広告



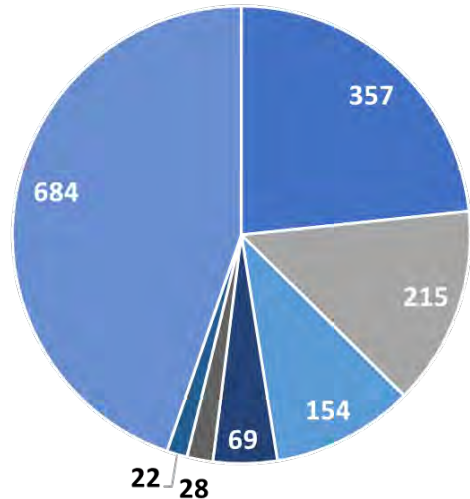
半5段広告

年に3回、新潟日報朝刊紙面にて鮭プロの活動を紹介する特集を掲載。イベントの認知経路として、学生対象のアンケートから「保護者からの紹介」が上位を占めており、保護者向け広報も鮭プロでは欠かせません。

2月4日時点

1,529 人

友だち登録の内訳



- 県外学生
 - 保護者
 - 県内学生
 - 若手社会人（入社2年目以降）
 - 高校生
 - 新社会人
 - その他
- ※アンケート回答者



LINE登録者の属性に合わせた情報発信を行ったほか、チームいくらちゃんの広報班にも協力してもらいながらInstagram、Xでも新潟の話題や鮭プロイベント情報などを発信しました。Instagramは今年から外部会社と連携し、学生に向けてより密度の高い情報を発信しています。

県内8大学(新潟大学、新潟青陵大学、新潟県立大学、三条市立大学、敬和学園大学、新潟食料農業大学、開志専門職大学、長岡技術科学大学)に通う32名が5チームに分かれ、学生目線で新潟の魅力を発信しました。

運営協力:新潟青陵大学・

新潟青陵大学短期大学部社会連携センター

チームいくらちゃんの活動

1. 鮭プロHPの取材・発信

はたらく、たべる、まじわる、つながるをテーマに県内各地を取材。24年度は2泊3日の佐渡特別取材も実施。

2. イベントの企画・運営

イベント班が11月3日(日)鮭プロフェスinメディアシップの企画・運営。

3. SNS、ラジオでの発信

広報班がInstagramやラジオで発信。



主催事業：交通費無料キャンペーン

新潟とつながる機会を増やすために、交通費無料キャンペーンを前年度に引きつづき実施。2024年度は当選人数を拡大して春(3~4月)/秋(9~10月)の2回実施し、県外高速バスは100名、新幹線は20名にプレゼントしました。さらに秋は関西方面の学生も帰省いただけるよう、「大阪⇒新潟」間の飛行機片道搭乗券も4名にプレゼント。対象地域の学生の鮭プロ会員登録数が増加しました。2024年3月~2024年11月は合計1022人の応募があり、長期休みの帰省を中心に利用されています。



主催事業：プレゼントキャンペーン

毎月のプレゼントキャンペーンとして、県内のイベントや美術展等の鑑賞券をプレゼント。新潟とつながるきっかけをつくっています。

・3~10月

アルビレックス新潟
ホームゲーム観戦チケット

・6月

長岡まつり大花火大会
有料観覧席チケット

・7月

「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024」作品鑑賞パスポート

・9~10月

佐渡古民家ホテル「NIPPONIA」
佐渡相川金山町 宿泊券



※提供プレゼント
随時募集中です！

主催事業：にいがたふるさと応援便

「県外の学生」と「ふるさと新潟」をつなぐ事業として、年に2回、1回につき500名に「新潟ふるさと応援便」を発送。ふるさとの温かさを届けています。毎回、学生、保護者から多くの応募が寄せられます。

ふるさとの想いを乗せて、届け！若者へ！

にいがたふるさと応援便

500名限定の応援便

「にいがたふるさと応援便」を受け取った県外の若者たちからたくさんの喜びの声が届きました！

母から新潟ふるさと応援便が届いたと喜び、早くまで毎日楽しみにしていました。娘のふれあいが嬉しく、新潟の文化や風景を知ることができて、とても助かりました。娘のふれあいが嬉しく、新潟の文化や風景を知ることができて、とても助かりました。

娘のふれあいが嬉しく、新潟の文化や風景を知ることができて、とても助かりました。

にいがたふるさと応援便

にいがた鮭プロジェクトとは

にいがたふるさと応援便 Supported by

越後製菓株式会社 ヤスダヨーグルト 岩塚製菓 越後小千谷 ちかの 株式会社三幸 たいまつ ヒカリ食品 中越運送株式会社



◇協賛
【6月】
(株)ウオロク、越後製菓(株)、(株)SANKA、岩塚製菓(株)、キャノンイメージングシステムズ(株)、(株)栗山米菓、(株)たかの、マルタスギヨ(株)、中越運送(株)、(株)広報しえん
【11月】
越後製菓(株)、(有)ヤスダヨーグルト、岩塚製菓(株)、(株)たかの、(株)三幸、たいまつ食品(株)、(株)ヒカリ食品、中越運送(株)、(株)広報しえん

【応募期間】
6月15日(土)～6月30日(日)
11月10日(日)～11月24日(日)

【応募総数】
6月: 1,017名(学生281名、保護者736名)
11月: 1,298名(学生502名、保護者796名)



主催事業：にいがたCafe



サポーター企業・自治体と一緒に首都圏の大学へ出向いて若手社会人と在学生在が交流するイベントを実施し、カジュアルな雰囲気の中、新潟で働くこと・暮らすことのイメージ共有を図ります。24年度は首都圏では駒沢大学、専修大学、関東学院大学で実施、新潟県内では新潟大学、メディアシップで開催しました。

気軽な雰囲気企業・団体の担当者とお話できます。若手社会人との交流を通じて、新潟での暮らしのヒントや業界研究の場としてご活用ください。

参加無料・服装自由 新潟のお土産つき

2024 期日 **6/27 (thu)** 場所 **3-403**

新潟に興味のある人 集まれ!

時間 **第1部 14:10～16:10**
にいがたCafe in 駒沢大学
 参加企業のプレゼンテーションのあとグループに分かれて若手社員と交流します。U・Iターン情報の紹介も!

要事前申込 受付13:50～

時間 **第2部 16:20～17:20**
にいがたU・Iターン相談会
 新潟日報社員や出展企業、にいがた暮らしごと支援センターのスタッフが、新潟県内企業の情報やインターシップの案内、暮らし、観光情報などを案内します。協力にいがた暮らしごと支援センター

事前申し込み不要 入退場自由

主催 **にいがた鮭プロジェクト** (新潟日報社・新潟県) 定員 **40名**

問い合わせ **キャリアセンター**
 Tel: 03-3418-9092 Mail: career1@komazawa-u.ac.jp

参加希望の方はコチラ!▼ 締切: 6/26(wed)

※参加企業・団体

株式会社イーラスト(設備工事業) 新潟県内を中心に、電気・設備事業を中心に、東京や神奈川に本社・システム開発事業や、本拠地を東京に中心とした東京支店・仙台支店、お客さまに最適なサービスを提供する中で、社会貢献の推進に努めています。

株式会社新日本建設(建設) 株式会社イーラスト(設備工事業) 新潟県内を中心に、電気・設備事業を中心に、東京や神奈川に本社・システム開発事業や、本拠地を東京に中心とした東京支店・仙台支店、お客さまに最適なサービスを提供する中で、社会貢献の推進に努めています。

株式会社Hakuhodo DY ONE(デジタルマーケティング事業) 株式会社イーラスト(設備工事業) 新潟県内を中心に、電気・設備事業を中心に、東京や神奈川に本社・システム開発事業や、本拠地を東京に中心とした東京支店・仙台支店、お客さまに最適なサービスを提供する中で、社会貢献の推進に努めています。

株式会社新日本建設(建設) 株式会社イーラスト(設備工事業) 新潟県内を中心に、電気・設備事業を中心に、東京や神奈川に本社・システム開発事業や、本拠地を東京に中心とした東京支店・仙台支店、お客さまに最適なサービスを提供する中で、社会貢献の推進に努めています。

株式会社B2Nアイン(情報サービス) 株式会社イーラスト(設備工事業) 新潟県内を中心に、電気・設備事業を中心に、東京や神奈川に本社・システム開発事業や、本拠地を東京に中心とした東京支店・仙台支店、お客さまに最適なサービスを提供する中で、社会貢献の推進に努めています。

【主催・運営】 にいがた鮭プロジェクト事務局(新潟日報社、職業支援センター内) 電話番号: 025-365-7473 ウェブ: https://sakepro.jp/

にいがた鮭プロジェクトは、新潟県産の鮭を軸とした、企業・団体・個人・企業・行政が連携し、にいがたの未来を創出するための参加型のプロジェクトです。

▲にいがたカフェin 駒沢大学 告知チラシ

主催事業：鮭プロサロン@東京

6月には渋谷でBSNラジオ「のための会議」とコラボレーションで、ラジオの公開収録と交流会を実施、約30名が参加しました。9月は新しくできた新潟県のアンテナショップTHE NIIGATAで、新潟県出身のフリーアナウンサー馬場ももさんをナビゲーターに、新潟の食をテーマに参加者と交流しました。

6月8日@渋谷キューズ
約30人が参加



9月28日@THE NIIGATA(銀座)
13人が参加 6月のリピーターも



主催事業：鮭プロフェス



県内の大学生らが本県の魅力を発信するイベント「鮭プロフェス」が3日、新潟市中央区の新潟日報メディアシップで開かれた。コメ由来の製品を扱う県内企業の出展や、ダンスなどのステージ発表があり、若者を中心ににぎわった。産学官が連携して若者を

新潟でフェス
本県の魅力
学生が発信
ブースにコメ製品

新潟でフェス



高校生の書道パフォーマンスや県内企業の出展があった鮭プロフェス＝3日、新潟市中央区

応援する新潟日報社の「にいがた鮭プロジェクト」の一端で、プロジェクトを運営する学生メンバー「チームいくらちゃん」が企画した。

3度目の今回は「新・再発見」県民全体に新潟の良「いところを」と掲げ、メンバーが良さを広めたい企業に出展を交渉した。コメをテーマにブースを設け、非食用米を原料にした食器を扱うバイオマスレンジンマーケティング(同区)など4社が、商品や企業活動を紹介。新之助から抽出したエキスを使った化粧品や、おにぎり、米粉シフォンケーキなども並び、来場者が手に取っていた。

県内の高校生による書道パフォーマンスや大学生のダンスなどの発表も行われた。

フェスの企画リーダーである新潟大2年の桜原真英さん(19)は「新潟って意外とすごいということが伝わったらしい」と話した。

11月3日(日)に新潟市中央区のメディアシップで開催しました。23年度の万代シティパークからメディアシップに会場を変え、23年度同様ステージ事業、飲食ブースの他、24年度はお米ブースなどを設け、当日は約1200人が来場しました。出演・出店者の交渉、広報活動、当日運営は「チームいくらちゃん」が担当。ステージ出演した高校生や大学・専門学校生からは「来年も参加したい」「これからも新潟を一緒に盛り上げていきたい」などの声が寄せられ、新潟の若者の元気を発信するとともに「若者を応援する鮭プロ」を大いにPRしました。



連携事業：キャリア教育

新潟県の連携事業として、新潟県内の高等学校5校(高田北城高校、上越高校、長岡向陵高校、巻高校、北越高校)で2022年度から実施しており、今年が3年目となります。各学校ごとにプログラムを相談しながら実施しました。24年11月に実施した巻高等学校では1年生を対象に、県内企業の若手社員7名が総合探求の授業内で講演し、課題を提示しました。グループに分かれて課題の解決策を検討し、プレゼン資料を作成。1月末に各クラスの優秀作品を全学年の前で発表しました。高田北城高校では7月・12月、北越高校、長岡向陵高校、上越高校も同様に1月～3月に実施しました。

高田北城高校 24年7月2日



高田北城高でキャリア教育

町2の高田北城高校で行われた。市内の企業経営者らが自身の仕事を語り、生徒たちは地域の魅力について考えた。

新潟日報社や県が取り組む「にいがた鮭プロジェクト」の一環で2日に授業が実施され、1年生約240人が参加した。

丸山陽向さん(15)は「大学進学や就職先は、地元という選択も視野に入れてみたい」と話した。

参加。バイオマス樹脂製造の武田豊樹社長(51)や大島区で民宿を営むコメ農家、市職員が講師を務め、業務内容や自身のキャリアなどについて語った。

武田さんは、原料の一部に木くずやコメなどを用いたバイオマスプラスチックで、くしゃいなりなどの日用品を製造していることを説明。「仕事の依頼を受けたりチャンスをつかんだりするためには、独自性を出すことが大切だ」と強調した。

高校生に地元への愛着や関心を高める、将来のキャリア教育が上越市北城町の1ターンの挑戦になる。将来自らの仕事をつなげるキャリア教育が上越市北城町の1ターンの挑戦になる。将来自らの仕事をつなげるキャリア教育が上越市北城町の1ターンの挑戦になる。

24年7月18日付新潟日報朝刊

巻高校 24年11月29日



連携事業：県外大学1、2年生向け企業見学バスツアー（新潟県）

夏休みなどの長期休暇中に、主に県外大学の1、2年生向けに、早い時期から新潟県の企業に関心を持ってもらうことを目的に県内企業3社を1日で回る企業見学バスツアーを実施しました。24年夏は3回開催で延べ25名、25年2月26日にアクシアルリテイリング、新潟信用金庫、BSNアイネットを見学し14名が参加し好評を博しました。



2024年夏季チラシ



①2024年8月20日（火）8：45～17：00 参加者6名

【見学先】株式会社ホテル泉慶、ナミックス株式会社、株式会社タカヨシ

②2024年8月30日（金）7：45～18：30 参加者5名

【見学先】新潟太陽誘電株式会社、株式会社大光銀行、新潟交通株式会社

③2024年9月3日（火）8：00～17：45 参加者14名

【見学先】日本精機株式会社、株式会社コメリ、株式会社新潟放送

④2025年2月26日（水）8：30～17：30 参加者 14名

【見学先】アクシアルリテイリング、新潟信用金庫、株式会社BSNアイネット

連携事業：学生による 企業の魅力発信事業（新潟県）

学生の目線で新潟県内の企業の魅力を、鮭プロ登録学生へ伝える企画として実施しました。
新潟県 総務部 大学・私学振興課や新潟県 土木部と連携し、企業の魅力を発信しました。

にいがたで働くリアル（新潟市）



年代が近い新潟市内企業の若手社員との交流を通じ、新潟で暮らすイメージを醸成するとともに、市内で働くことへの意識を高めることを目的として、25年2月に東京、新潟市内の2会場で開催しました。
（東京会場14名参加、新潟会場10名参加）



2024.12.20
新潟県×にいがた鮭プロジェクト 学生が企業の魅力を発見！～第6回 加島屋～

Uターン 新潟県連携事業—企業の魅力発信 はたらく 下級 企業を知る 学生 就活

新潟市 新潟県



2025.01.24
新潟県×にいがた鮭プロジェクト 学生が建設企業の魅力を発見！～第1回 太陽開発株式会社～

Uターン 新潟県連携事業—建設企業の魅力発信 はたらく 上級 企業を知る

学生 就活

企業との交流

9月10日(土)サポーターセミナー
サポーターズ×チームいくらちゃん ワークショップ



セミナー・交流会の実施

対面・オンラインで計4回のセミナー／交流会を実施しました。
9月に開催したリアルセミナーには学生運営メンバーも参加し、
サポーター会員と交流を図りました。



9月開催リアルセミナー・交流会



7月開催リアルセミナー

サポーターズインフォメーションでの情報発信（月2回）



鮭プロHP



鮭プロX

会員企業・団体 2025年2月末時点

131社 157口

自治体無料会員17／有料会員13

講座名	内容
第1回公開講座 7月30日(火)	「高校生の就職等の現状」 新潟県高等学校長協会就職対策専門委員長 小畑 智嗣 様
第2回対面・交流会 9月10日(火)	「チームいくらちゃんとの交流と学びのカフェ」 第1部 OSTを活用したWS にいがた鮭プロジェクトを活性化させるには -企業と学生が共にチャレンジできること- 第2部 参加者交流会
第3回オンライン講座 1月16日(木)	「消滅可能性都市から脱却。官民連携で広げた地方創生」 鹿児島県長島町地方創生統括DX監 一般社団法人熱意ある地方創生ベンチャー連合 事務局長 土井 隆 様
第4回オンライン講座 3月19日(水)	「やめない会社をつくるために～退職代行の現場から見たZ世代の離職～」 講師 株式会社 アルバトロス 代表取締役 谷本慎二様